

生き生き

TUMA つま

TUMAこいカフェ オープン

テープカット



2016/03/05

3月5日、念願のTUMAこいカフェが、オープンした。約10年前のまちづくり計画策定委員会で、ふれあい喫茶は夢の一つに挙がっていた。以来、歴代役員がプランを温めてきた。機が熟し、さまざまな条件をクリアしたので、昨年度末ふれあい喫茶を作ろうと決定した。申請からのこの一年、数々の問題が起き、その都度みんなの知恵と熱意で乗り越えてきた。

この「喫茶を作る」という一石を投じることで、津万地区に波紋が拡がった。津万地区の有志が、自主的に基礎や外構作りに日々を追う毎に、協力者が増えていった。完成した喫茶は、みんなの力で乗り越えた証である。

また、看板のデザインは、地区内のプロの書家、提供を受けた櫻の銘木に書家の親子で揮毫してくださった。それを工務店さんが掲げてくださった。

喫茶スタッフも、一人が友人を誘ってと、シナプスのように増えていった。これが、津万の力だと実感した。今後ますますのうねりを期待している。

3月5日、地域の方々が、穏やかに晴れた会場に笑顔で集まつた。お迎えする役員・委員も笑顔である。ご来賓の皆様も、西林寺のおごそかな中にも温かい庭で、終始にこやかに式典を見守ってくださった。アトラクションでは、津万保育園児の歌と演奏、西脇高校生活情報科の体操・ダンス・ファッションショーで、盛り上がつた。喫茶の目的の一つ、みんなの笑顔が集まるところの実現である。その後のふるまいは、生き生きTUMA特製のぜんざいと豚汁、飲物である。スタッフメンバーの赤いチェック柄のエプロンと帽子、生き生きTUMA委員の緑のジャンパー、西脇高校生のピンクのジャンパー100名が約500名の来場者をもてなした。

当日の参加を快く承諾してくださった、津万保育園と西脇高校のおかげで、オープニングイベントが、世代間交流しながら華やか盛り上がつた。男も女も、老いも若きも笑顔で集まるTUMAこいカフェ。今後、金曜日土曜日の定期営業(午前9時~12時)と、桜・あじさい・紅葉のシーズンの期限内連日の特別営業(午前9時~15時)で、生き生きTUMAのおもてなしをお見せしたいとスタッフ一同、張り切っている。

津万保育園児の歌と合奏



西高生 ファッションショー



皆さんのご来店をお待ちしています

おそろいのエプロンはどのように?



おいしい豚汁とぜんざい



西高生 歌とダンス



こんな活動も盛況に終わりました

お腹をかかえ笑った
谷 五郎さんの講演会

「人が元気地球が元気で みんなハッピー」

いつもその日は雨だった。やっと念願かない、

5年越しのウォークラリー



普通救命講習



だいじょうぶですか
意識なし
あなた救急車よんで
ください

だいじょうぶです
安心してください
AED持ってきましたよ



今年も西林寺林道のクリーン作戦

昨年度よりは少し減ったのですが、まだまだ不法投棄は後を絶ちません。そこで、防止策としてネットをはりました。



西脇子午線マラソン・へその市



生き生きTUMAがおもてなし

やつぱり あま~い おいしそう 満足!
生き生きTUMA

せんざい 400食
豚汁 300食
サンドイッチ 100個
コーヒー 100杯

完売しました



スポーツ21 初めてのファミリー駅伝

津万の郷交流グランド

